神商鉄鋼販売

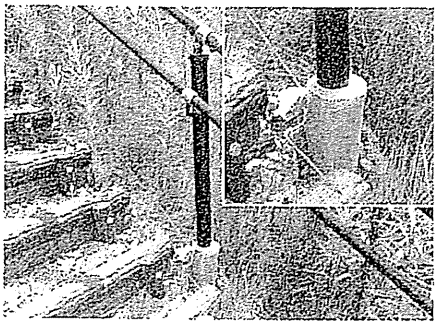
高耐食めっき鋼板「KOBEMAG」使用

基礎杭用鋼管を拡販

今秋から九州でも販売

神商鉄鋼販売（社長・伊藤勝美氏）は、神戸製鋼所の高耐食めっき鋼板「KOBEMAG」を素材にした基礎杭用鋼管の拡販を進めている。関東、東北、関西ではすでに販売を開始しており、今秋からは九州でも販売を始める。2018年の秋に販売を開始してから累計で8万本、800㌧を販売してきたが、当面倍増を目指す。

同社は神鋼商事の子会社で、神鋼建材工業の道路土木製品や、神鋼鋼線工業のPC鋼線・ワイヤーロープ、神鋼ボルトのハイテンボルトなどをメインに扱う商社。コベルコグループでは高耐食めっき鋼板「KOBEMAG」の拡販に注力しており、同社でも得意とする道路建材製品への応用を検討。フェンスや手すりなど防護柵の支柱の基礎杭用鋼管として商品化した。



高耐食性を生かし防護柵の基礎杭として活用

「KOBEMAG」製基礎杭用高耐食めっき鋼管の特徴は、従来防護柵の支柱基礎用として使用されるコンクリートブロックに比べ軽量で施工性が良いこと。後めっきの鋼管に比べるとトータルコスト、環境負荷を低減できる。製造は鋼管メーカーに委託しており、製造可能サイズは厚みが1～4・5㍉、外径7㌢。圧延および加工、配送は、東北、関東、関西、九州各地の流通と連携しているため、切断などの加工後、短納期で納入できる。

20.9.07　鉄鋼新聞